

「中国の姥捨伝承」【サマリー】

百田弥栄子

柳田国男氏は日本の姥捨伝承のうち「もっこ型」と「難題型」は中国から伝えられたもの、「致富型」（福運型）と「枝折り型」は日本に古くからあったと推論され、孝行を勧める話であるとされた。大島建彦先生は「古来の葬地の印象を留めながら老人の靈魂の安定を念じたもの」と説く。そこで中国の姥捨伝承をみると、「もっこ型」は極端に少なく、姥捨伝承といえば「難題型」を指していた。他の二型は日本では従来「外国の説話には認めがたい」とされていたが、中国では「継子譚」（継娘譚）の中に語り込められていた。日本への伝播を考察するのに重要なそれぞれの思いがけない分布情況も紹介した。